



駒本の力

駒本小学校 (家)

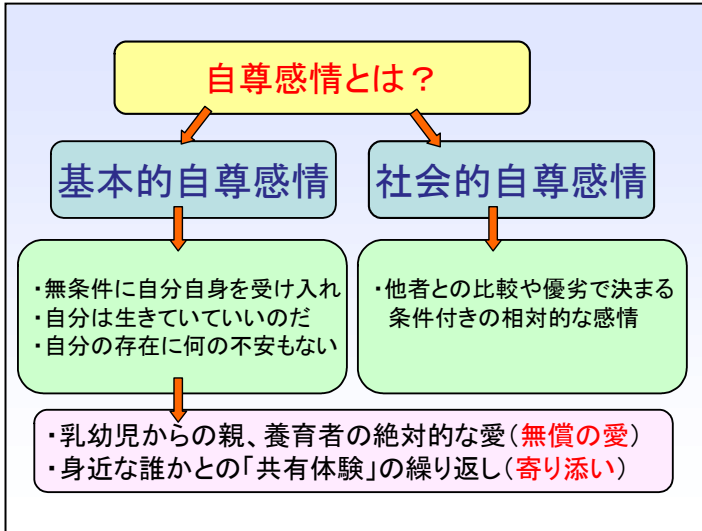
教育活動紹介便り

NO. 39

平成 29 年 2 月 1 日

子どもを笑顔にできる言葉がけ 1

校長 田中 克昌



先日の道徳授業地区公開講座で「子どもを笑顔にできる言葉がけ」というお話をいたしました。40名以上の保護者や地域の方がご参加いただき誠にありがとうございました。そのときのお話の概要をお知らせいたします。

昨今、自尊感情が低い子が多いと言われていています。自尊感情とは、英語ではセルフエスティームと言うそうです。心理学的には基本的自尊感情と社会的自尊感情で構成されていると言われていています。特に、基本的自尊感情を

高めてあげられる人は保護者です。子どもへの無償の愛こそが自尊感情の源になっています。子どもの自尊感情を高めるためには、「親の豊かな愛情と認め励ます、体験や感情の共有」が大切です。一緒に過ごしていて、大好きだよとか、愛しているよとか言って抱きしめてあげればいいわけです。

子どもを笑顔にできる言葉がけ 6つの極意

- ・ネガティブワードは使わずポジティブワードで
- ・相手の目を見て
- ・笑顔で
- ・自分の感情を表現しよう(心から)
- ・三角ほめは効果的
- ・面倒がらずに

その中でも、今回のお話の中心は「言葉がけ」です。多分、基本的自尊感情を高める最大の手法がこの言葉がけだと思います。言葉がけをすれば、会話が生まれ、励ますことができ、認めてあげられ、ほめることができ、支援ができ、その結果、信頼感が高まるというようなお話です。ただしそれは良い言葉がけをした時のことで、ネガティブな言葉がけをすると言い合いになり、いやな気持ちになり、頭にきて、信頼関係を壊してしまいます。そんな

ネガティブな言葉がけでは正反対の結果しかできません。

子どもたちの周りにいる大人達が子どもたちに対して、ポジティブな元気の出る言葉がけをすれば、子どもたちの自尊感情は高まり、前向きに歩むことができます。

「子どもを笑顔にできる言葉がけ」には、6つの極意があります。まず一つは、ネガティブワードを遣わず、ポジティブワードを心がけることです。二つは、相手の目を見て、言葉をかけることです。三つは、笑顔で言葉をかけることです。四つは、自分の感情を心から表現することです。五つには、三角ほめで効果を3倍にすることです。そして最後に、面倒がらずに言葉をかけることです。この6つの極意を解説します。

一つは、「ネガティブワードを遣わずポジティブワードで」、これは当たり前と言えます。家庭内では、どうしてもネガティブワードが出てしまうことがあります。注意する言葉が多くなるため、なかなかポジティブワードを遣う場面が多くなれないということがあります。ネガティブワードは遣わず、ポジティブワードを遣おうと心にかけてほしいのです。

二つは、「相手の目を見て」です。これも当たり前ですが、実はなかなか難しいことです。家庭では照れが出てしまうことがあります。また、家事をしながらではなく、ちょっとだけ手をとめて、子どもの顔に面と向かって、子どもの目を見て、言葉をかけることが大切です。

三つは、「笑顔で」です。子どもの目を見るところまできたら、せっかく褒めたり励ましたりするのですから、ここは一番の笑顔で伝えたいですね。笑顔は練習すればいいのです。でもできるだけ、心からの笑顔が出せるようにしたいですね。しかし、その時、今までの注意したことや叱ったことなどが頭をよぎってしまうと、引きつった笑顔になってしまうか、怖い顔で伝えるようになってしまいます。過去のことはとりあえず、忘れましょう。「よく、がんばったのね」の一言でも、笑顔での言葉がけと無表情での言葉かけ、さらに、怖い顔での言葉かけでは、言葉の意味は同じでも相手に伝わる意味は全く違ってきます。コミュニケーションは、言語的なものより非言語的なものの方がウエイトは大きいのです。ですから、笑顔というのはとても大切です。

四つは、「自分の感情を表現しよう（心から）」です。心からというのが大切です。子どもの言動を心から喜ぶことです。喜び、安堵、感謝等の感情を言葉で表現することです。照れるかもしれませんが、ここ一番が大切なのです。「〇〇が一生懸命に努力している姿を見て、お父さんはうれしかったよ。感動しちゃったよ。」ぐらいのことは、言っていきたいものです。これはI（アイ）メッセージと言ってとても大切な表現の方法です。

五つは、「三角ほめは効果的」です。ほめたり励ましたりする時に、もう一人介入させます。母親が「〇〇ががんばったね。えらかったね。」という褒め方だけでもいいのですが、そこに父親を入れます。「〇〇ががんばっていて、えらかったってお父さんがほめていたよ。」とくれば三角ほめになって、効果倍増です。さらに、「それを聞いてお母さんは、とてもうれしくなっちゃった。」とI（アイ）メッセージを入れれば、効果三倍です。

六つは、「面倒がらずに」です。普段より気を使い、言葉を選び、おまけに目を見て笑顔になるのですから、かなり大変なことです。ここは一つ、子どもがほめられ励まされて笑顔になれば、自分の心も明るくなり、前向きになれると信じてください。決して何かが減る訳じゃないんですから。逆に心にはハートマークの貯金が貯まります。がんばって6つの極意で子どもたちを笑顔にしていきたいのです。

もちろん学校でもこのことを心がけて全教職員で子どもたちの笑顔をつくっていきたいと思います。